

少子化に歯止めを！ 学校給食の無料化を要求



引き続き6月議会での井之川博幸議員の一般質問の内容を報告します。井之川議員は、少子高齢化・人口減少自治体の典型的な沼田市では、その克服として「思い切った施策」が必要であり、教育部面でも実施してほしいと要求し、学校給食の関係で、まず給食食材の地元産品の使用の現状について質疑し、いっそうの拡充を求めました。

井之川博幸市議 教育長は、「平成24年度の県内産の使用率は、重量ベースで42.50パーセント、対前年比4.14パーセントの上昇であり、沼田産の使用率は、23.51パーセントで、対前年比5.90パーセントの上昇です。引き続き、安全性に留意しながら、良質な地元産の食材の活用努めてまいりたい」と答えました。

つづいて井之川議員は、給食食材の放射能汚染検査の現状について質疑し、いっそうの拡充を求めました。

教育長は、「3調理場でそれぞれ月2回、調理済み検査を行うとともに、地元産食材などで可能なものは一部事前検査も実施している」「今後も引き続き、両検査を併用し、給食の安全性確保に努めてまいりたい」と答えました。

つづいて井之川議員は、2年前に実施された沼田調理場の民間委託の現状と問題点について質疑しました。

教育長は、「調理業務の民間委託による学校給食への影響等について、各学校等を対象に『学校給食に関するアンケート』を実施しましたが、特に民間委託への否定的な意見はありません」と答えました。また、「より質の高い、安心安全な給食の提供に努めてまいりたい」と答えました。



食育の充実のため自校方式に転換を

つづいて井之川議員は、「食育」の前進のために(調理場を)「センター方式」から「自校方式」に転換させることを求めました。(右下段へ続く)

平和な世界には核兵器はいらない

2013平和大行進利根沼田コース実施



沼田から渋川に向かう平和行進パレード隊

2013核兵器廃絶平和大行進が利根沼田実行委員会主催で、7日に利根沼田網の目コース、10日に沼田市役所から渋川市役所までの本コースで実施されました。

沼田市議会情報 一般職員給与引き下げに反対—日本共産党 特別職・議員・職員給与さらに引き下げ 安倍政権が強行…景気回復に逆行！

星野市長は、6月議会最終日に追加議案として、市長など特別職及び一般職員の給与を引き下げる議案を提案しました。これを受けて議員も報酬引き下げ議案を自ら提案し、可決されました。

日本共産党市議団は、安倍政権が地方公務員の給与を引き下げるとして、地方本来の財源である地方交付税を強行的に削減したことが原因として、地方自治を国が支配するようなやり方は、違憲・違法であり、今回のようなやり方には従わないよう、また景気回復に逆行するとして、一般職員給与の引き下げには反対しました。

教育長は「共同調理場方式のメリットを生かしながら、経済的で合理的な運営を図り、安心安全な学校給食の提供に努めてまいりたい」と答えました。

最後に井之川議員は、給食費の無料化実施を求めました。

教育長は、「一部県内で、比較的児童・生徒数が少ない町村などで無料化を実施している例はありますが、財政状況が厳しい中、児童生徒数が多い本市での実施は非常に難しいと考えております」と財政的な面で無料化はできないと答えました。

2013年7月14日 No.664

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料